

(様式1)

令和3年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県民小劇場 文化振興課

2 施設所在地
富山市桜町1-1-61

3 施設設置年度
昭和62 年度

4 設置目的
県民の文化の向上と芸術の振興を図ることを目的とする。

5 施設概要
①建物の構造 鉄筋コンクリート造(マリエとやま6・7階)
②建物面積 609.18㎡(富山ターミナルビル(株)より賃借)
③施設内容 多目的小ホール(最大200席、200㎡)、会議室(62㎡)
④開設 昭和62年9月

6 指定管理者
公益財団法人富山県文化振興財団

7 指定期間
5 年
平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人)

H29	H30	R1	R2	R3
20,249	18,129	17,685	6,922	13,841

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

H29	H30	R1	R2	R3
9,158	9,038	9,369	5,008	6,858

(3) 利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

H29	H30	R1	R2	R3
8,868	9,282	9,402	9,402	9,402

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

令和2年度と比較して、民間企業による興行公演及び研修会が増え、利用者数、利用料金収入ともに増加した。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・ホール利用者に高度な舞台技術を提供できるよう、舞台音響・舞台照明の資格を持つ職員を配置している。
- ・平成25年度から主催者向けに駐車場利用料金割引サービスを実施している。
- ・平成26年度からの利用料金等のクレジットカード、平成29年度からの電子マネー決済対応に加え、令和2年度からはQRコード決済に対応し、利便性の向上を図っている。
- ・平成30年度にリニューアルしたチケット販売システム「アーツナビ」を活用し、主催事業チケットのインターネットでの決済、コンビニエンスストアでの決済・発券に対応している。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・平成26年度から施設のリアルタイムな予約情報をホームページに掲載し、空き日利用の促進に努めている。
- ・次世代を担う子供たちの芸術文化の鑑賞機会の充実を図るため、平成28年度から継続して「親子（未就学児）のためのクラシックコンサート」を実施している。
- ・令和2年度に県が整備した有線LANによる高速通信が可能な情報コンセント、デジタル配信設備の利用促進のため、インターネット環境の提供、LANケーブルの貸出を無料で行い、会議室でのWEB会議、舞台公演ライブ配信等の新しい利用方法を利用者に提案した。
- ・令和3年度から入居するマリエとやまの運営会社と協議して店内にポスターを掲示するスペースを確保し、主催事業等のPRに努めている。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	実施期間：通年、実施方法：入場時にアンケート用紙を配布
回答者数	231人
結果	総合的満足度 97.8%
結果を踏まえた改善事項	好評につき特になし

② その他利用者の声を反映させる取組み

- ・ホームページのお問合せフォームや主催事業開催時のアンケートにより利用者の声を収集している。

③ 主な苦情と対応

無

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報を管理する責任者が決められ、適切に管理されている。

(6) 関係団体との連携

・平成30年度からロビーに県内観光パンフレットスタンドを設置し、観光PRに取り組んでいる。
・富山県公立文化施設協議会の加盟施設と連携協力し、チラシ折込み・設置、ポスター掲示などを互いに行い、主催事業の周知広報を行っている。

(7) 施設・設備の維持管理

・適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

・舞台や音響・照明設備等の点検チェックリストを作成し日頃から安全点検を徹底した。
・非常時のマニュアルや連絡表を作成するとともに、各種機器の点検を着実に実施した。
・ビル管理者である富山ターミナルビルが年2回実施している自衛消防訓練に参加した。
・新型コロナウイルス感染症対策として手指消毒用アルコールを設置するとともに、不特定多数がよく触れる場所の消毒をこまめに行った。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
無	—
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

・床面の高さを多分割で調整できる機能を活かし様々なニーズに対応できる施設の特徴を積極的にPRし、利用促進を図る必要がある。また、新型コロナウイルスの感染防止対策を講じながら、落ち込んだ利用の回復にも取り組んでもらいたい。
・引き続き小劇場空間の利点を活かした魅力ある企画事業（発見ライブ、親子コンサート等）を実施し、県民が身近に芸術文化に触れられる機会の提供に努めてもらいたい。